

絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト part3 アルコール依存症編・2016



※120冊達成しました ありがとうございます!!
エントリー期間:2016年10月21日(金)~11月27日(日)

目次

[プロジェクト概要](#)

[届ける絵本](#)

*

[プロジェクトへの参加方法](#)

[寄付するコース](#)

[自分で絵本を購入して保健室へ届けるコース](#)

[関連リンク](#)

プロジェクト概要

出身校や身近なお子様が行われている小中学校の保健室に、親がこころの病気をかかえている子どもを応援する'プルスアルハ'の絵本を届けるプロジェクトです。

ページにおこしいたきありがとうございます。

子どもにとって身近で、多くの時間を過ごす学校。なかでも保健室は、他の人には言いにくい悩みを抱えている子どもたちに寄り添ったり、先生方、保護者の方との架け橋になる場所です。保健室を起点として、学校で、精神障がいのある親とその子どもたちを応援していただけたら心強いという思いで始めたプロジェクトです。

2016年3月にはうつ病編(110冊)、8月には統合失調症編(80冊)を保健室に届けました。part.3は「アルコール依存症編」の絵本が対象。

11月10日～16日のアルコール関連問題啓発週間にあわせての実施です。

アルコール依存症の人は100万人*を越えると推計され、非常に身近な問題です。さまざまな問題が起きて進行し、家族や子どもがまきこまれることも多いにもかかわらず、偏見も多く、病気という理解が進んでいません。

絵本制作にあたっては、アルコール依存症のリハビリ施設のスタッフから意見を伺いました。「ネコのココをギュッと抱いて心を痛めている主人公ハルの姿が、自分と重なった。飲酒して大声をあげる父親の脇で、まさに妹とこんなふうにごろごろ過ごしていた」など、依存症の家庭で育ち自身も依存症になったリアルな声もいくつもありました。子どもたちにサポートが必要なのです。

* * *

プロジェクトは、寄付する、自分で絵本を購入して届ける、という2つの参加方法があります。あなたの想いをのせて、全国の子どもたちへ安心を届けます！

後援：特定非営利活動法人ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)、一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、全国マック協議会、認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ、親&子どものサポートを考える会 *2013年厚労省研究班



届ける絵本



家族のこころの病気を子どもに伝える絵本④

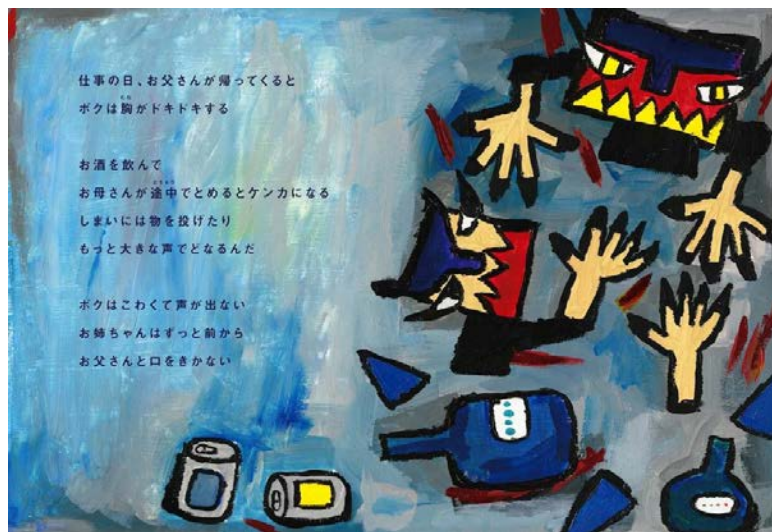
『ボクのことわすれちゃったの？—お父さんはアルコール依存症—』

プルスアルハ著 [お話と絵: 細尾ちあきNs / 解説: 北野陽子Dr]

ゆまに書房 2014年6月刊行

監修 成瀬暢也Dr

家族がこころの病気になったときの子どもの気持ちや生活の様子が、子どもの視点で描かれます。後半は、まわりの大人の方へ向けた、子どもの気持ちの理解と対応についての解説、病気についての説明です。



酔っぱらうお父さん、お酒をとめるお母さんとケンカに、、、

絵本の基本情報

『ボクのことわすれちゃったの？—お父さんはアルコール依存症—』

プルスアルハ著

お話と絵：細尾ちあき（看護師）／解説：北野陽子（医師・精神保健指定医）

定価：本体2,100円＋税 B5版上製／68項 ゆまに書房 2014.6刊行 ISBN978-4-8433-4577-1

絵本のあらすじ：主人公ハルは小学校低学年。相棒はネコのココ。お父さんは最近、お酒を飲んでばかり。キャッチボールの約束をしてもお酒を飲んでしまいます。お酒をとめようとするお母さんとケンカになったり、ケガをして救急車で運ばれたり……。そんなお父さんが、いくつかの契機を経て、専門治療につながり、お母さんは家族会につながります。ハルにもお父さんの病気について説明し、家族全体が回復の一步を踏み出すまでを描きます。

解説：アルコール依存症の病気について、かかわりのポイントなどを図説。さらに、絵本のシーンにてらして、子ども、依存症の本人や家族の気持ち、行動の理解と対応について解説。

対象は、まず、'大人'の方を対象としています。主人公のハルは、小学校低学年の設定ですが、すべての年代で活用できます。

プロジェクトへの参加方法

寄付するコース

3,500円の寄付で1冊の絵本を学校へ届けます。任意の冊数を寄付できます。申込フォームに冊数やお届け先の希望を記入し、クレジット決済を行います。

[内訳 絵本代・送料・梱包費・決済手数料・作業人件費・プロジェクト運営費]

※絵本の定価にあわせて、第1,2弾のプロジェクトよりも1冊あたりの寄付額が+500円になっています。

※郵便振替、銀行振込にも対応しますので、その場合は、お問い合わせフォーム（ページのもう少し下にあります）より、お名前とメールアドレス、「郵便振替／銀行振込み希望」と入力の上で送信ください。

「学校指定」の場合

フォームに指定校を入力ください。ふるすあるはから指定校へ、絵本＋プロジェクトキットを郵送します。

※複数冊をご寄付いただける場合、指定校以外の届け先はふるすあるはが選定することも可能です。

※統廃合などで学校名や所在地が変わっていることがありますので、入力前に必ずご確認ください。

「ふるすあるはに一任」の場合

ふるすあるはが届け先を選定して郵送します。

※ふるすあるはから保健室への郵送は、12月7日までに完了する見込みです。お届けが完了したら、ふるすあるはから寄付者様へメールでご報告します。

※一言メッセージについて

メッセージ欄にご記入いただいたメッセージ(50文字以内)は、カードに転記して絵本に同封します。寄付者のお名前は、カバーレター等には印字されません。お名前を伝えたい場合は、必ず、メッセージ内にご記入ください。メッセージは空欄でも結構です。

子どもたちの応援と
依存症の病気の理解が
広がることを願って
胡麻スキイ

ふるすあるは



自分で絵本を購入して保健室へ届けるコース

Step1 フォームから申し込む

Step2 絵本を準備し、ふるすあるはから郵送されるプロジェクトキットとともに届ける

Step3 お届け完了をふるすあるへメールで報告する

※保健室の先生へ直接でなくても、担任の先生、相談室の先生やカウンセラーなど、学校で渡しやすい方へ届けても大丈夫です。プロジェクトの主旨、保健室の先生と共有していただきたい旨のカバーレターを同封します。

※プロジェクトキット(内容物はページの下の方に詳細あり)は、お申し込みから2週間以内に届きます。送料は無料です。

※12月末までを目安にお届けください。



×メリット

- ・手軽
- ・発送日に確実に送ることができる

×メリット

- ・直接届けることで思いがより伝わることがある
- ・反応が直接わかる

△デメリット

- ・反応が直接あからずい
- ・受けとる方によってどのように活用されるか？
活用されないか？あからずい...

△デメリット

- ・なかなか返すタイミングが...

※ご参加いただいたみなさまへ、ふるすあるはのサポーター(キッズパワーサポーター)に登録させていただき、活動報告を毎月のメルマガでお届けします。

関連リンク

》イラストで学ぶアルコール依存症

<https://kidsinfost.net/disorder/illust-study/alcoholism/>

いぜんしよう アルコール依存症 1



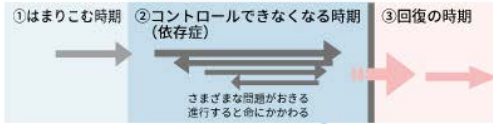
アルコール依存症は回復できる病気です。ひとりだけで抱え込まずに、相談できる人から、相談に行きます。

●どんな病気？

自分の意志ではアルコールをやめられなくなる病気です。



●どんなふうに病気がすすむの（経過）？



●どんな問題が起きるの？（例）



*どこからが依存症？ ...問題が起きているにもかかわらず、やめられないのが依存症です。「コントロール障害」とも言われます。

●どれくらいの人がいるの？

医療機関にかかっている人 約4万人*
アルコール依存症者 約80万人**
アルコール依存症者・疑いのある人**
約440万人

性格、学歴、職業、年齢や性別にかかわらず、だれでもアルコール依存症になる可能性があります

出典：*2011年調査報告 **2003年厚生労働省研究報告の推計

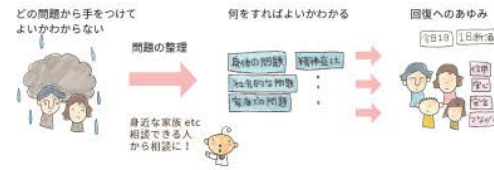
子ども情報ステーション by おるすまはる > 子どもも大人もイラストで学ぶ『アルコール依存症』ver.1 kidsinfost.net

いぜんしよう アルコール依存症 2



回復の過程はひとりひとりちがいます。自分にあった道すじを見つけます。

●回復のサポートになることは？



家族だけでも相談できる公の機関に
精神保健福祉センター、保健所[精神保健担当]があります。相談は無料です

※このシートの全文、さらに詳しい情報はウェブサイトでご覧中

子ども情報ステーション
アルコール依存症



子ども情報ステーション by おるすまはる > 子どもも大人もイラストで学ぶ『アルコール依存症』ver.1 kidsinfost.net